

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	寺澤勝志
		全体計画				経費区分		-		内線	3628
事務事業名	4324 生涯スポーツ事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	04022000 スポーツ活動の充実										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費									
	事業	020000 生涯スポーツ事業									
事業目的						事業概要・効果					
市民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図る。						学校体育施設の開放や各種大会を主催し、スポーツの普及発展と市民の交流、健康増進・相互の親睦、生涯スポーツを推進する。 ニュースポーツの大会を開催し、スポーツ人口の増加につなげる。 子ども向けスポーツ教室を引き続き須坂市スポーツ協会に委託する。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
地域別スポーツ教室の開催、学校開放の実施、各種大会等を主催し、全国大会出場者に激励金を交付した。海の家負担金事業は、今年度で廃止することとした。	地域別スポーツ教室の開催、学校開放の実施、各種大会等を主催し、全国大会出場者に激励金を交付する。新たに冬季スポーツの振興を図るため、峰の原スキー場の利用料負担事業を行う。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
ニュースポーツ普及のためのイベント開催、学校開放の実施、各種大会等を主催し、全国大会出場者に激励金を交付する。冬季スポーツの振興のため、峰の原スキー場の利用料負担事業を行う。日中友好都市卓球交歓大会に選手団を派遣する。	ニュースポーツイベント開催、学校開放の実施、各種大会等を主催。全国大会出場者に激励金を交付する。冬季スポーツの振興のため、峰の原スキー場の利用料負担事業を行う。長野県日中友好都市卓球交流大会に選手団を派遣する。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
ニュースポーツイベント開催、学校開放の実施、各種大会等を主催。全国大会出場者に激励金を交付する。冬季スポーツの振興のため、菅平高原スノーリゾートのリフト利用料負担事業を行う。	ニュースポーツイベント開催、学校開放の実施、各種大会等を主催。全国大会出場者に激励金を交付する。冬季スポーツの振興のため、峰の原スキー場の利用料負担事業を行う。

指標名	地域別スポーツ教室				
算式	参加者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標			550	600
	実績			0	
指標選定の理由	地域別にニューススポーツ教室を開催し、気軽にスポーツに親しみ、健康増進につなげる。 (平成29年度以降はニューススポーツふれあい大会への参加者数)				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値の約40%増 (H29よりニューススポーツふれあい大会開催) (地域別スポーツ教室は平成29年度より希望する区のみ実施)				
指標名	信州須坂ハーフマラソン(旧:竜の里須坂健康マラソン)				
算式	申込者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標			3,000	3,000
	実績			中止	中止
指標選定の理由	日頃から健康増進のためウォーキングをしている市民、ランニングをしている市民の増加につながる				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値約2割増				
指標名	スポーツリーダーバンク				
算式	登録者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標			38	40
	実績			32	
指標選定の理由	地域のスポーツ推進のリーダー・指導者の確保、育成 スポーツ推進委員を含む				
最終年度目標の根拠	ニューススポーツや各種大会等への指導者派遣要請に応えられる人数				

事業費

(単位:千円)

		平成31年度 決算	令和2年度 予算
事業費		30,855	35,792
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,316	9,133
一般財源		28,539	26,659
人員数(人)	正規職員	2.5	2.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1.2	1.0
人員コスト	正規職員	18,162.5	16,709.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1,557.6	1,298.0
	計	19,720.1	18,007.5
市民一人当たりの経費		1.0	1.0
総額		50,575.1	53,799.5

(単位:千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,297	スポーツ教室指導者謝礼1,060、全国大会出場激励金237
11節 需用費	782	大会・行事消耗品 491、印刷製本費 116、修繕料51、食糧費122
13節 委託費	1,460	子ども向けスポーツ教室委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	24,780	須高行政事務組合負担金(プール)19,957、信州須坂ハーフマラソン負担金3,400、峰の原高原スキー場リフト負担金 1,422
その他	2,536	臨時職員賃金1,476、同社会保険料244、郵便料30、清掃用具借上157、機器賃借料413、備品購入175 ほか

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,400	スポーツ教室等指導者謝礼 1,100、全国大会参加者激励金 300
10節 需用費	909	大会・行事等消耗品 527、印刷製本費 124、修繕料116、食糧費142
12節 委託費	1,606	子ども向けスポーツ教室委託料
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	28,853	須高行政事務組合教育費負担金(プール)18,533、ハーフマラソン負担金 8,500、峰の原スキー場リフト負担金 1,820
その他	3,024	会計年度任用職員報酬1,593、同期末手当176、同保険料276、借上料622、備品購入費179 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民の健康増進に寄与することができる	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	参加することで次に繋がるようなきっかけづくりを提供することができる	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	費用対効果が現れていないと思われる	

振り返り（決算年度の取組み課題）

スポーツに興味を持ってもらう取り組みが必要である。如何にしてスポーツイベントに参加してもらうことが課題である

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

継続してスポーツに親しむ場を提供することが大切

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

・キッズスポーツ教室の充実を図り、子どもたちが様々なスポーツに親しむ機会を提供する。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--